

関係者各位

2020年12月17日
公益財団法人大阪産業局
一般財団法人大阪国際経済振興センター

大阪産業局と大阪国際経済振興センターが「包括連携協定」を締結

公益財団法人 大阪産業局（理事長：立野純三）と一般財団法人 大阪国際経済振興センター（理事長：中村一男）は、12月14日、両財団が有している資源を活かした、協働による活動を推進・強化することを目的とした包括連携協定を締結いたしました。

協定締結式 画像ファイル：

① https://www.obda.or.jp/wp-content/uploads/2020/12/20201217press_01.jpg

（写真左）大阪産業局立野純三理事長・（写真右）大阪国際経済振興センター中村一男理事長

② https://www.obda.or.jp/wp-content/uploads/2020/12/20201217press_02.jpg

両法人集合写真

この協定に基づき、大阪の中小企業に向け、国際ビジネス活動の支援を協働して実施していくことをはじめ、国際ビジネスにかかる情報収集・情報発信などの取組みを展開するとともに、「西日本最大の国際展示場・インテックス大阪」と「大阪最大級の都市型展示場・マイドームおおさか」が協働し国内外から大阪への MICE 誘致に取り組むことにより、大阪の中小企業の国際ビジネス活動をさらに強化してまいります。

[包括連携協定の内容]

- (1) 国際ビジネス活動の支援に関すること
- (2) 国際ビジネス支援にかかる情報収集・情報発信に関すること
- (3) 国内外からの企業等誘致の促進及び支援に関すること
- (4) インテックス大阪・マイドームおおさか、両施設への MICE 誘致等利用促進に関すること
- (5) その他

[協定にもとづく具体的活動例]

- ・両財団が実施する展示会・イベントへの集客協力、相互応援
- ・IBPC（インターナショナルビジネスプロモーションセンター）大阪の実施するイベントの参加企業に対し、イベント前後のビジネス相談やフォローアップとして、産業局の国際ビジネスサポートセンターの相談サービスや各種の支援施策の案内などを実施
- ・大阪進出企業 BSO(ビジネスサポートオフィス)入居者による、ビジネス活動を支援するための大阪産業創造館の活用
- ・インテックス大阪・マイドームおおさかにおける MICE 誘致に関する情報交換及び開催規模による展示会・イベントの相互紹介

[背景]

- ・(公財)大阪産業局は、平成 31 年 4 月に(公財)大阪産業振興機構と(公財)大阪市都市型産業振興センターの統合により発足した。
- ・グローバル社会が進展する中、大阪産業局は、在阪企業の国際ビジネス支援に取り組んでおり、国際ビジネスサポートセンター(BSC)における各種相談、上海事務所の運営、アジア 4 地域(インド、タイ、ベトナム、ミャンマー)に設置するビジネスサポートデスクを活用した各種ビジネス支援、海外展示商談会への出展支援等を行っている。
- ・一方、(一財)大阪国際経済振興センターは、国際見本市会場インテックス大阪を運営するほか、IBPC 大阪事業として、大阪市内の中小企業の海外展開支援や貿易促進業務を行うとともに、ビジネスパートナー都市(BPC)提携を締結している 14 都市(香港、シンガポール、バンコク、クアラルンプール、マニラ、ジャカルタ、ソウル、上海、ホーチミン市、ムンバイ、メルボルン、天津、オークランド、ハンブルク)とのビジネス交流活動の推進の一翼を担っている。
- ・そのような中、令和 2 年 1 月に発生した新型コロナウイルス感染症により海外取引を行っている企業のビジネス環境が一変した。
- ・コロナ禍においても、講じうる方策の検討と実践を行いながら、WEB による商談会を開催するなどの対応を行ってきたが、国の渡航規制が緩和される動きもある中、EU 諸国の新型コロナウイルス感染症患者の激増などの影響もあり、海外取引を取り巻く状況は不透明である。
- ・そのような状況下にあっても、これまで海外取引を行ってきた企業やこれから海外市場への展開をめざす企業が、引き続き国際ビジネスに取り組んでいけるよう、両財団の有しているこれまでの支援ノウハウやネットワークを相互に最大限活用し、大阪企業の国際的な活躍に向けサポートしていく必要がある。

【本件・取材に関する問い合わせ先】

公益財団法人大阪産業局

担当：統括室長 安積 TEL：06-6264-9800

一般財団法人大阪国際経済振興センター

担当：総務課長兼経営戦略室次長 伊藤 TEL：06-6612-8872

《参考》

※IBPC 大阪とは

・IBPC (International Business Promotion Center) 大阪は、大阪とアジアをはじめ世界各都市との貿易・産業・コミュニケーション活動の強化を目的として大阪市により設立された組織であり、2003年4月に西日本最大の展示会場「インテックス大阪」を運営管理している一般財団法人 大阪国際経済振興センターの国際部として誕生。

・大阪시가 1988年より進めているビジネスパートナー都市 (BPC) 提携を締結している14都市 (香港、シンガポール、バンコク、クアラルンプール、マニラ、ジャカルタ、ソウル、上海、ホーチミン市、ムンバイ、メルボルン、天津、オークランド、ハンブルク) 地域において、主に大阪市内の中小企業の海外展開支援や貿易促進業務を実施。

・また、国内外の企業、研究開発拠点等の大阪市内への立地支援や定着支援業務を行っており、事業拠点の紹介、雇用創出、税収アップ等の側面から大阪経済に貢献するとともに、大阪市の上海事務所、ビジネスパートナー都市活動の事務局となる「大阪ビジネスパートナー都市交流協議会」の運営管理も担っている。

※IBPC 大阪は、1994年に開設された「BPC ネットワークセンター (大阪ビジネスパートナー都市交流協議会)」と 1995年に開設された「ワールドトレードセンター大阪」が合併して 2003年に設立された。

※BSO とは

・所有は大阪市、IBPC 大阪は、業務委託として、運営管理を担っている。

・大阪市内に拠点進出、もしくは再投資を検討中の企業様、団体様を対象に、大阪進出準備のための拠点として最大6ヶ月間無料で利用できるオフィスを提供。

・約10~27㎡の個室を6室、約36㎡のシェアオフィス (6ブース設置) を1室、最大で12社・団体が利用可能。

・各部屋には机、椅子、Wifiに加え個室にはミーティングテーブル、電話、FAX、インターネット回線、ロッカー、コートハンガーを設置している。

※国際ビジネスサポートセンター (BSC) とは

大阪産業創造館2階に国際ビジネスサポートセンターを設置し、経験豊富な常駐のコーディネーターが府内企業の皆様方の相談に応じるとともに、極めて専門的な分野や特定の国・地域に関する相談については、コーディネーターが専門アドバイザーと連携しながら問題解決に向けて支援を行っている。

※ビジネスサポートデスクとは

現地企業等に委託し、アジア4地域 (インド、タイ、ベトナム、ミャンマー) に海外拠点を設置し、大阪府内企業の海外展開にかかる国際ビジネス相談 (レポート提出)、取引先候補企業リストアップ、現地出張支援などの各種ビジネス支援を行っている。